

処理灰の最終処分場への搬入を再開

〔環境課 36・71122〕

市では、山田町の災害廃棄物（木くず）の受け入れを再開した10月18日から31日までの平日の10日間で、約80tの災害廃棄物を受け入れ、家庭ゴミと混ぜて、溶融（焼却）してきました。

しかし、最終処分場の正面入り口が、11日に災害廃棄物の受け入れに反対する一部地権者に封鎖され、一般家庭ゴミの処理灰も搬入できない状態になっていました。このため、処分場西側の市道から処理灰が搬入できるよう、処分場に仮設で鉄製のスロープを据え付ける作業を行ってきましたが、12日に暫定の搬入路が完成し、20日には処分場の封鎖以降止まっていた処理灰を4tダンブで処分場に運び入れ、埋め立てました。



暫定搬入路から処理灰の搬入を再開

け入れは、溶融炉の定期点検と整備のため、11月1日から一時中断していましたが、12月3日には、受け入れを再開しました。その後、12月20日まで平日1日8t、1月は10日から搬入が始まり、10日・11日・15日の3日間は浜松市が受け入れられないため、島田市が1日20tの受け入れになります。1月16日以降は、3月19日まで平日1日12tの受け入れになり、平成24年度は合計で、約800tの災害廃棄物を受け入れる予定です。

〔処理灰の放射能濃度などの測定結果の公表〕

測定結果は、いずれの数値も問題ありませんでした。測定は、原則毎週1回（②は月1回）実施し、インターネットで公開しています。

http://www.city.shimada.shizuoka.jp/kankyousisetu/gareki_top.jsp

①田代環境プラザ敷地境界・周辺施設空間線量率 (単位: μSv/h)				
5/21 (本格溶融前)	10/31、11/7・14・21・28			
0.06 ~ 0.08	0.07 ~ 0.09			
②田代環境プラザ処理灰の放射能濃度 ※ 本格溶融				
単位: Bq/kg	5/24	11/7*	11/20	
セシウム134	42	29	11	
セシウム137	49	69	26	
③一般廃棄物最終処分場敷地境界4カ所の空間線量率 (単位: μSv/h)				
5/21 (本格溶融前)	10/31、11/7・14・21・28			
0.07	0.06 ~ 0.08			
④一般廃棄物最終処分場水(原水・放流水・地下水)の放射能濃度				
5/21 (本格溶融前)	10/31、11/7・14・21・28			
不検出	不検出			

すぐやる課ができて10年、今年度も既に1765件の要望

〔すぐやる課 36・71152〕

「通学路に穴が開いている」「カーブミラーの向きが曲がっている」「側溝のフタが壊れている」など、市民の皆さんから1日平均10件ほどの要望が、電話などで寄せられます。これら、市民の皆さんからの要望に、素早く対応しているのが「すぐやる課」です。

「すぐやる課」は、平成14年4月に「すぐやる係」として設置され、平成18年4月から「すぐやる課」として現在に至り、市民の立場に立ったサービスを心掛けています。

市民の皆さんから電話などで要望を受け付けると、まずは現場に行き状況を把握します。係員が現場ですぐ処



傷んだ路面を補修する「すぐやる課」職員

市民からの要望件数 (すぐやる課対応分)					
年度	H20	H21	H22	H23	H24*1
受付件数	3,189	2,455	2,494	2,303	1,765
※1: 11月30日現在					
平成24年度の市民要望内容 (11月30日現在)					
項目	道路	交通安全施設*2	水路	その他*3	
受付件数	796	199	232	538	
※2: 防護柵・安全施設・照明灯の合計					
※3: 病害虫・草刈り・その他の合計					
自治会要望件数 (すぐやる課対応分)					
年度	H20	H21	H22	H23	H24*1
受付件数	539	555	506	492	452
※1: 11月30日現在					

理できるものはその場で対応しますが、そうでない場合には、改めて業者に発注したり、関係部署と調整したりして対応します。

市民の皆さんからは、いろいろな要望や相談があります。「庭の草刈り」や「家に蜂の巣ができた」など、私的なことへの対応はできませんが、こうした案件の処理についても、他機関の窓口へ案内するなど、解決へのお手伝いをしています。なお、地域で対応が可能な範囲の案件は、地域の皆さんのご協力をお願いします。

11年目を迎えたすぐやる課では、今後も市民の皆さんの要望や相談に応えることができるよう、職員一丸となって努めていきます。

山田高校の復興交流プラン「島田市のお茶を飲もう」

〔農政課 36・7168〕

10月12日と13日に、岩手県立山田高校の「さいかち祭」(学園祭)で、「島田のお茶」の試飲販売が行われました。これは、風評被害の影響が懸念されている島田市のお茶を購入して、山田町民からの感謝の気持ちを伝えたいと、生徒会が企画してくれたものです。

会場のパネルには、「山田町の震災がれきのように処理されているか知っていますか? がれき処理を、いち早く名乗り出たかったのが静岡県島田市です。しかし、これには地元でも多くの反対意見があったことを... みなさん知っていますよね? このような状況でもがれきを受け入れてくれた島田市に、私たちは何ができるでしょうか?」と記されていました。

盛岡市で開かれていた「全国都市間



島田のお茶を紹介する山田高校生徒

防災メールの登録件数が2280件に!

〔防災課 36・7143〕

市では、緊急時・災害時の情報を素早く市民の皆さんに伝えるため、携帯電話やパソコンを利用したサービスを本年6月15日から行っています。

サービス開始から、6カ月が経った登録件数は、2280件(11月30日現在)。このサービスでは、市内の気象・土砂災害警戒情報、東海地震情報、さ

らには、市内で放送した同報無線情報などが配信されています。災害時の備えとして、是非登録をお願いします。まだ、登録されていない人は、空メール(件名や本文がないメール)を次のアドレスまで送信してください。bousai.shimada-city@raden.kaiwork.jp ※QRコードからもアドレスを取得できます。



QRコード

山田町と大槌町の物産品販売で産業復興を支援

〔商工課 36・7164〕

市では、岩手県山田町と大槌町の産業復興のため、両町の物産品の販売を支援しています。これまでに、10月のSLフェスタや島信ふれあい市そして大井川マラソン大会、11月には産業まつりで、海産物や菓子などの販売を支援してきました。特に産業まつりでは、山田町の名物「かき小屋」で焼きガキ販売を行い、予想をはるかに上回る約2500個を売り上げました。

これからも、両町の物産品についてイベントや公共施設、スーパードなどで販売する予定です。12月23日には、お



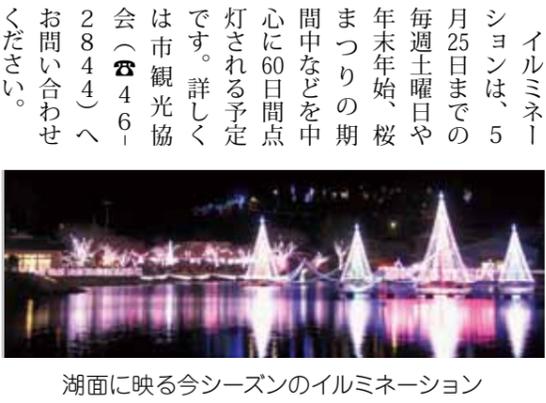
SLフェスタでの産業復興ブース

「野守の池」湖上イルミネーションが点灯

〔観光課 36・7163〕

川根地区の観光交流人口の増加を目的に、昨年からの野守の池の湖上を彩っているイルミネーション。12月1日に行われた点灯式では、市長や市観光協会副会長らがスイッチを押すと、一斉に光が灯り、湖上の煌きが演出されました。また、地元青年団や保育園児による踊りや歌なども披露されました。

イルミネーションは、湖上に飾られた高さ10mと7mの円すい形のウォーターツリー4基のほか、池周辺や天王山が、合わせて約18万球のLED電球で彩られます。



湖面に映る今シーズンのイルミネーション